

# 写真で見る 横尾義智の人間像

美多 哲夫（日本聾史学会運営委員）

あらまし

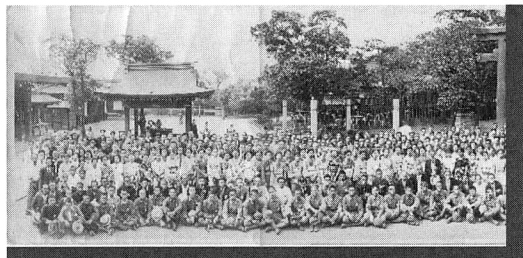
新潟県といえば、日本で唯一のろうあ村長を務めた故横尾義智氏が有名であるが、その生涯は「故横尾義智氏を偲ぶ会」の小平邦幸氏（長野県）ら関係者の証言と記録によって、語り継がれている。筆者は故横尾氏と面識がないが、石川県と富山県で故横尾氏と面識があった、ろう者に取材、写真の提供を受けて、故横尾氏の人間像に迫ってみた。

## 1. はじめに

ご承知のように「故横尾義智氏を偲ぶ会」の手によって「小黑むらおさ」が出版されて、全国に大きな反響を呼んでいる。内容はことさら説明するまでもないが、この本に収録されていない秘蔵写真を求めて、昨年の秋から今年の夏にかけて、石川県の清水四郎氏（90歳）、富山県の西野三郎氏（80歳）にそれぞれ会って、取材の協力を求めた。

両氏に日本聾史学会の趣旨を説明したところ、快く証言と写真の提供に応じていただいた。特に最高齢の清水氏には何度も訪問して、多くの貴重な写真を提供していただいた。両氏の積極的な取材協力に感謝している。

## 2. 写真の解説



### 1) 日本聾啞協会総会のパノラマ写真

昭和3年・大阪

写真の大きさは、横の長さが80センチ、縦の長さが20センチ



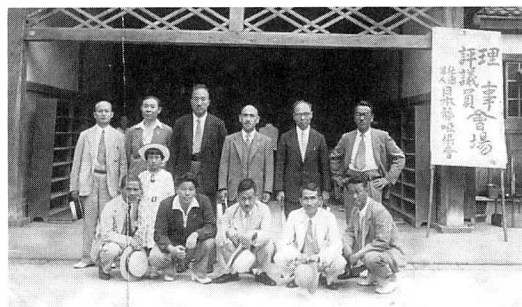
### 2) その拡大写真1

左から園田良介・福島薫・横尾義智(34歳)・藤本敏文



### 3) その拡大写真2

左から川本宇之介・高橋潔・山尾総裁・三浦浩  
手前は、大阪市立聾啞学校の生徒



### 4) 日本聾啞協会の理事・評議員会

昭和12年7月30日・金沢市



### 5) その拡大写真

後列左から高橋潔・瓜生了観  
(石川県立聾啞学校第8代校長)・川本宇之介・  
横尾義智(43歳)・村長在任)



6) 日本聾啞協会総会  
昭和12年8月1日・金沢市



7) その拡大写真1  
横尾義智(43歳・村長在任)



10) その拡大写真  
横尾義智(54歳)・鈴木忠光・三ツ井為吉



11) 北陸聾啞連盟発足  
昭和23年8月19日、長野聾学校



8) その拡大写真2  
左から三浦浩・福島薫・藤本敏文



12) その拡大写真  
藤本敏文・三浦浩・小岩井是非雄・横尾義智(54歳)



9) 全日本聾啞連盟第1回大会(京都)に参加した  
北陸地区のろう者、昭和23年5月10日



13) 第1回北陸ろうあ者大会  
昭和28年10月1日、長野県湯田中温泉



14) その拡大写真

三浦浩、横尾義智(59歳)、藤本敏文



15) 北信越ろうあ者大会

昭和36年8月16日、芦原温泉

横尾義智(67歳)

昭和38年2月9日、69歳で永眠

3. 終わりに

故横尾義智氏と面識がない人々にとっては、関係者の証言と記録（文献・写真）から人間像を想像するしかないが、より多くの写真を目にふれることで、少しでも実像に迫ることが出来れば幸いに思う。

写真提供：清水四郎（石川）・西野三郎（富山）

参考文献：「小黑むらおさ」

「北信越ブロックの歩み」